

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市鴨居保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：下瀬 久子	定員（利用人数）：122名（125名）	
所在地：〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-3-19		
TEL：045-933-2101	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1977年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員： 27名	非常勤職員 48名
専門職員	保育士：園長、副園長 2名	保育補助： 24名
	保育士：主任 1名	調理員 5名
	保育士： 40名	子育て支援員 3名
施設・設備 の概要	乳児室（0～2歳児室） 3室	地域子育て支援室 1室
	幼児室（3～5歳児室） 3室	トイレ 4室
	遊戯室（ホール） 1室	（設備など）
	調理室 1室	鉄筋コンクリート造り 1階建て
	事務室 1室	建物延床面積 874.96㎡
	職員休憩室（更衣室） 1室	園庭 614.79㎡

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護と教育が一体となった環境のもとで、子どもたちが現代（いま）を幸せに生活し未来（あす）を生きる力を育てるために、子どもたちの自ら伸びていく無限の可能性と子どもたちの健やかな成長を願い、愛情をもって保育する。 ・地域における子育て支援のために、保育に関する相談に応じ助言するなど、社会的役割も自覚し、自らの人間性と専門性の向上に努める。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものありのままを受け止め、一人ひとりの子どもの心に寄り添い、十分な信頼関係を築いて、心の安定を図る。 ・友だちや異年齢の子どもたちとの交流を深める中で、人と関わる力、友だちを大切にできる力を育てる。 ・家庭との連携を密にし、保護者とともに子どもたちの幸せを願い、共通理解のもとに、よりよい支援をしていく。
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>横浜市鴨居保育園は、JR横浜線鴨居駅から徒歩8分のところにあり、消防署に隣接しています。1977年に開設し、0歳から5歳児まで、定員122名のところ125名が在籍しています。近隣には商業施設、住宅地、自動車教習場があり、鶴見川が徒歩5分</p>

の所にあります。周辺には自然が多く、植物や虫等が見られ自然環境に恵まれています。子どもたちは毎日園庭で外遊びをして、三輪車、足蹴り自転車、すべり台、ジャングルジム、鉄棒、砂場等で元気よく遊び、0、1歳児は芝生で築山のある第2園庭でのびのびと安心して遊んでいます。

【園の特徴】

6つのプロジェクトチーム（可視化、公開保育、防災、食育、第三者評価、みどりっこまつり）を編成し、非常勤職員を含む職員同士が連携し役割を分担しています。各チームが改善に向けて企画実行し、その結果を毎月ミーティングで検討して更なる質の向上を目指しています。

育児支援センター園として、子育て支援情報「こぐま通信」を発行し、園庭開放、交流保育、育児講座、育児相談等を行い、地域の子育てを支援しています。地域とのつながりとして、鴨居連合自治会「鴨居まち研」の様々な世代の住民たちと触れ合い、コマまわしや凧揚げと一緒に遊ぶ機会を設けています。

幼児組の異年齢保育「かるがもグループ」があり、年間計画のもとにリズム、散歩、運動会、パーティ等の活動を通して、友だちとの様々な関わりを学んでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月23日（契約日） ～ 2023年2月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 子どもたちの豊かな創造性を育む保育

職員は子どもの主体的な思い、表現、つぶやきにしっかり耳を傾け、一人ひとりが楽しいと思うことを大切に、様々な創造の世界に導いています。

3歳児では、磁石のおもちゃで遊び始めたところ、子どもたちから「平面だけでなく、立体のものを作りたい」との意見が出て、保育士と一緒に図をみながら作りました。何回も作るうちに、図を見なくても作れるようになり、自分たちでロケットや乗り物を考えて作って遊んでいます。

4歳児はおたのしみ会で、「みのむし」というテーマで木の枝からみのむしがぶら下がっている様子を表現しました。子どもたちが話し合い、大きな木や、厚紙に毛糸を巻いてみのむしの体を作り、拾ってきたどんぐりを接着剤でくっつけました。職員は個々の発達にに応じて関わっています。

5歳児は、今年の夏に水族館ごっこに取り組み、図鑑や映像を見て友だちと思いを伝え合い、イメージを創り出し、様々な方法でホールに水族館を表現しました。この活動は運動会にもつながり、プログラムに海の生き物を取り上げ、数名が組んで貝殻を表現したり、かかとを挙げて歩いてペンギンを表現しました。

2. 公開保育を中心とした保育の質向上に向けた園内研修への取組

園内研修では、公開保育や、コンプライアンス、人権研修・個人情報保護、救命救急等の研修を行い、職員の質の向上に努めています。公開保育研修では、常勤・非常勤を問わず全職員が自由に他のクラスの保育を見ることができ、互いの保育を知ることができました。そこでの気づきは、自分のクラスの子どもへの対応や環境設定に生かすことができ、保育の質を高めあう取組になっています。公開保育のドキュメンテーション（写真）を掲示して、保護者の理解を図る取組を行っています。

3. 充実した食育活動

食育プロジェクトチームでは、4期に分けた食育年間計画と栽培年間計画を作成し、定期的に食事の様子をドキュメンテーションで園内掲示しています。きゅうり、ナス等の種まき、水やり、収穫をし、調理、給食を楽しむなど、豊かな経験をして食への関心を高めています。また、郵便ポストを調理室前に設置し、調理職員と子どもたちが手紙で質問や回答のやり取りをしたり、クイズを楽しんで食への関心を高めています。

4. 保護者からの意見・要望・提案に関する記録の検討

苦情に関しては「苦情・要望に関する記録」、相談内容は、日誌や個人面談記録に記録していますが、苦情に至らない些細な意見・要望や提案についても園の対応や回答を一括記録し、管理していくことが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

鴨居保育園は、1977年10月に開園し現在に至っております。前回は2017年に第三者評価を受審し、今回3度目となりました。令和3年度から保育園の保育時間や勤務体系に大きな変化があった後の受審は鴨居保育園の保育を見直す大変貴重な機会となりました。

第三者評価の受審にあたり、各自の自己評価をもとに話し合いを進め、70名以上の職員が今回の受審をきっかけに自分たちの保育を振り返り、保育観を語り合うことを大切にしてきました。

保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。皆様が保育園と共に園の運営に取り組んでいただいていることを改めて実感いたしました。

子どもたちの健やかな成長のため、より良い保育の向上に向けて職員一同力を合わせてまいります。

鴨居保育園 園長 下瀬 久子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり